

## 第 651 回 新潟放送番組審議会 議事録

### — 議題 —

#### テレビ番組

「BSN NEWS ゆうなびSP～揺らぐ劇場～Noism 継続問題の深層～」  
(放送日時：2019年10月19日(土)午後5時00分～午後5時30分)



令和元年 10 月 31 日

**BSN**新潟放送

## 第651回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和元年10月31日(木) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

### 3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	古賀 豊	委員	石坂 智恵美
委員	小島 良子	委員	小原 清文
委員	高木 言芳	委員	三井田 由香
委員	渡邊 信子		

○審議番組事前レポート提出

委員 馬場 幸夫

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

副委員長 佐藤 元                      委員 稲荷 善之

○放送事業者側出席者

社長	佐藤 隆夫	専務取締役	島田 好久
メディア本部長	金田 博幸	編成局長	荻部 秀治
情報センター長	小湊 潤		

<説明員> 情報センター テレビ制作部 坂井 悠紀

事務局 阿部 基行 (編成局テレビ編成部長)

### 4. 議題

- 1 報告事項 ・「青少年に見てもらいたい番組」と番組種別公表制度に基づく「放送番組種別と種別毎の放送時間」の報告 (2019年4月～2019年9月)  
・11月の番組について (各局長)
- 2 審議番組 ・テレビ番組「BSN NEWS ゆうなびスペシャル ～揺らぐ劇場～Noism 継続問題の深層～」 (放送日時: 2019年10月19日(土)午後5時00分～午後5時30分)

## 5. 議事の概要

編成局長から「青少年に見てもらいたい番組」・「放送番組種別と種別毎の放送時間」の報告と各局長からの2019年11月度番組報告に続いて、テレビ番組「BSN NEWS ゆうなびSP～揺らぐ劇場～Noism 継続問題の深層～」(10月19日放送)について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 文化・芸術は難しい問題だが、劇場専属舞踏団「Noism」の存在意義を問題提起したのは良かった。
- 難しいテーマに挑戦した本格的なドキュメンタリーだった。
- 世界的に認められるNoismの魅力が伝わってきて、実際に舞台を見たいと思った。
- 国内外のプロが証言するNoismの確かさが理解できる作りだった。
- 30分と言う短い放送時間の中で、Noismの2004年に立ち上がった経緯や15年どのように歩んできたかが描かれていたので理解できた。Noism代表の金森氏の芸術に向き合う姿勢や想いが描かれていて支援者の好意的なコメントがあったが、反対意見は中原新潟市長のみだった。新潟市民でNoismの良さや芸術を理解していない人は多いと思う。新潟市民の反対意見を検証すべきだった。また、新潟市自体もNoismの活動を幅広く広報する必要があったと思う。
- 反対意見が少なく、もう少し工夫して欲しかった。
- Noismの運営費を含めた全体のお金の使い方を知りたかった。また、新潟県内には他にも太鼓芸能集団の「鼓童」などもあるが、他の芸術団体が行政からの補助金があるのかなども取材して欲しかった。
- Noism設立からの流れが良く描かれていて、世界的に認められているパフォーマンスの映像が印象的で効果的だった。
- 新潟市が補助金を出して税金を使っている事で、今まで新潟市が行政としてどのような要望を出していたのか？また、新潟市民らにどのような形で還元してきたのかわからなかった。
- 新潟市からの補助金がNoismの活動費の約1/3と言う事だが、全体の運営がどのように行なわれているか知りたかった。また、経済的・文化的波及効果を描けたら良かった。
- 番組を通して感じたのは、世界を視野に活動を続けるNoismと、内向きな新潟市側との意識の乖離だった。

新潟市側の「税金をたくさん使っているのだから地元にも貢献してほしい」「多くの市民が存在する理解していない」との発言と、演出家やカメラマンの「金森さんほど才能がある人を知らない」「新潟にとって宝物」「ノイズムの評価は圧倒的。生かさないのは行政が無能」との指摘が一層乖離を際立たせ、効果的だった。

～新潟放送 情報センター テレビ制作部 坂井悠紀ディレクターから～  
貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。

新潟市民のインタビューは取材もしていて番組の中にも入れたいと思っていましたが、

30分と放送時間に制約があったので中原新潟市長など然るべき立場の人を優先させました。確かに市民の声は、「Noismを知らない」が多かったです。新潟市の広報が足りない部分もあると思うが、Noismが活動を始めてから一定期間が過ぎてからメディアもあまり取材しなかった部分があったと感じました。

Noismへの補助金は、新潟市の文化活動に対する補助金なので一般の補助金と違う部分があります。その部分をもっと説明すれば良かった。

またNoismの基礎的な情報をもっと決め細やかに描いた方がよかったと感じた。

Noism問題は今後も取材を継続し、まとまったタイミングで放送する予定です。

ご指摘を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思えます。

本日はありがとうございました。

【文責・番組審議会事務局】